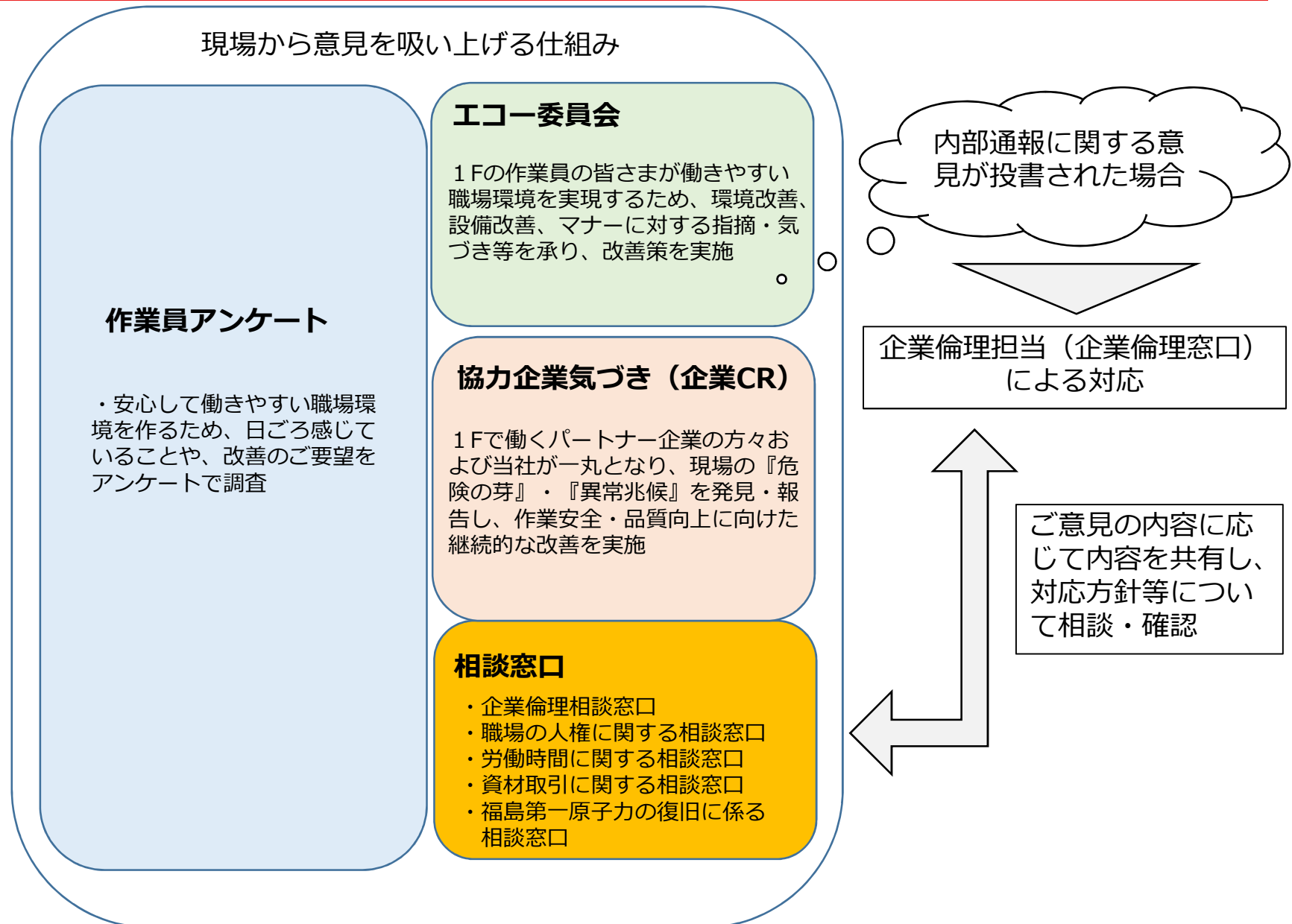


福島第一原子力発電所における 労働環境改善の取組について

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

現場から意見を吸い上げる仕組み



(1) - ① エコー委員会取り組み状況 概要

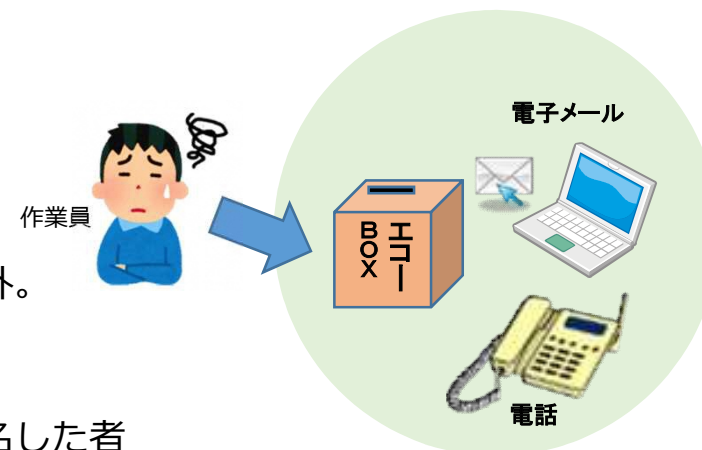
□ 目 的

福島第一原子力発電所で働く作業員の皆様が働きやすい職場環境を作することを目的に、日ごろ感じていらっしゃることやお気づき事項などについてご意見・ご要望を頂き、迅速かつ誠実に事実確認や対策検討を行い、是正・改善に努めている。

□ ご意見の適用範囲

- ・作業現場・職場における環境改善
- ・設備改善
- ・マナー・モラル・ルールに対する指摘・気づき
- ・お褒め・感謝などの良好事例

なお、当社社員からの意見および個人を特定した誹謗中傷は対象外。



□ 運営委員会の構成

- ・委員長：副所長
- ・委員：業務統括室長、各センター所長、関係部長、委員長が指名した者
- ・委員（協力企業：常任）：東芝エネルギーシステムズ、日立GEベルノバニュークリアエナジー
東京パワーテクノロジー、東京エネシス、福島原子力企業協議会（敬称略）
- ・委員（協力企業：非常任）：関電工、アトックス、岡野バルブ製造、ウツエバルブサービス
大成建設、鹿島建設（敬称略）※非常任委員は二社ずつ四半期交代の輪番制
- ・事務局：業務統括室 事業統括グループ

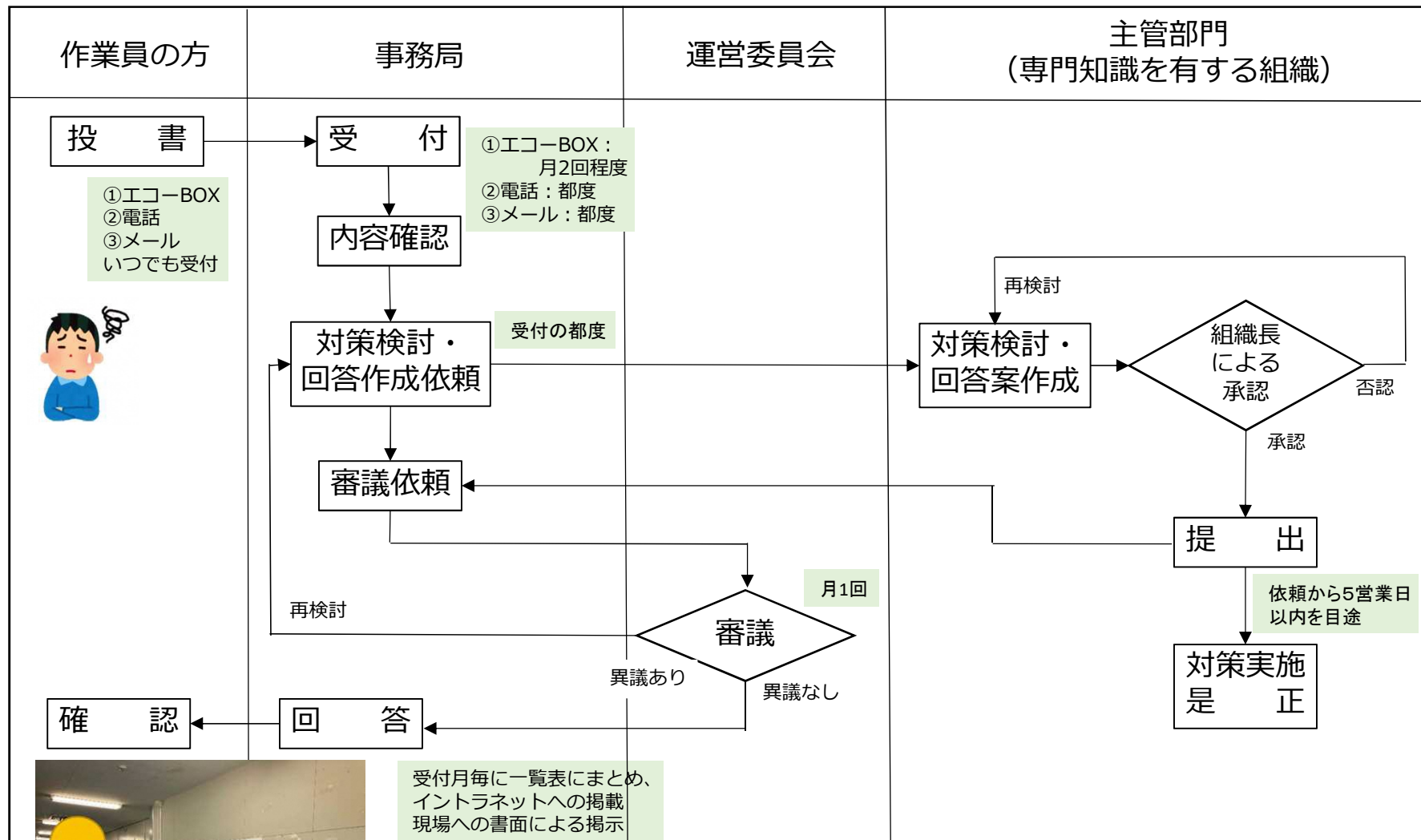
□ ご意見の投書方法と回収頻度

- ・エコーBOX（月2回程度回収）
- ・電子メール（都度対応）
- ・電話（都度対応）

□ ご意見への回答について

エコー委員会にて審議した結果を、イントラネットへの掲載および現場への書面による掲示を実施。

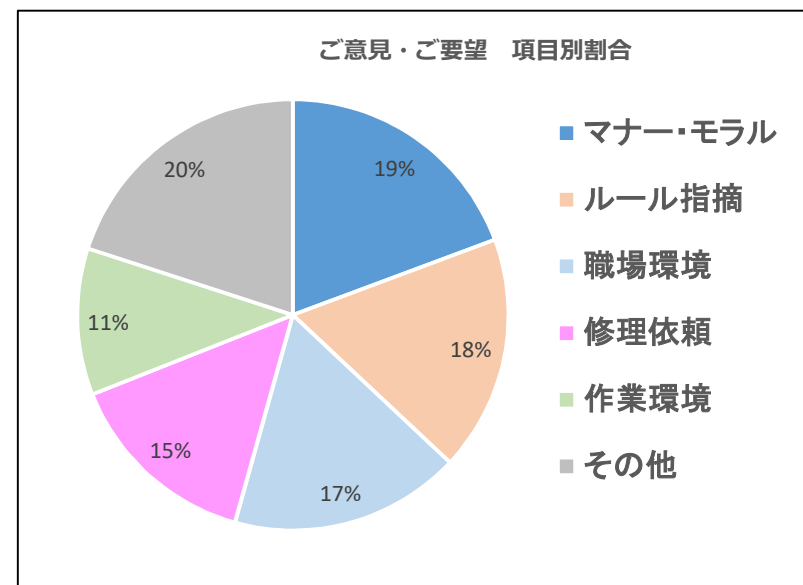
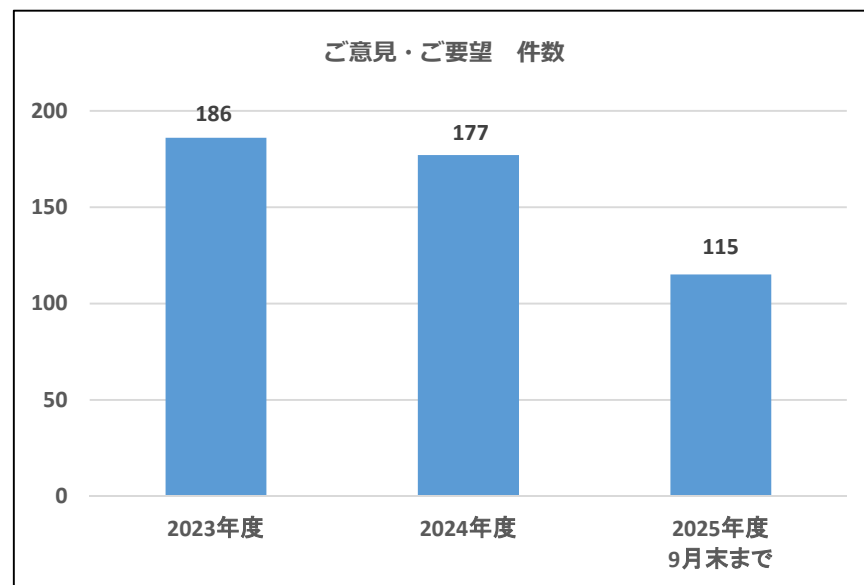
(1) - ② エコ－委員会の対応フロー



本活動は、社内規定により明文化され、それに基づき実施している。

(1) - ③ 意見・対応状況

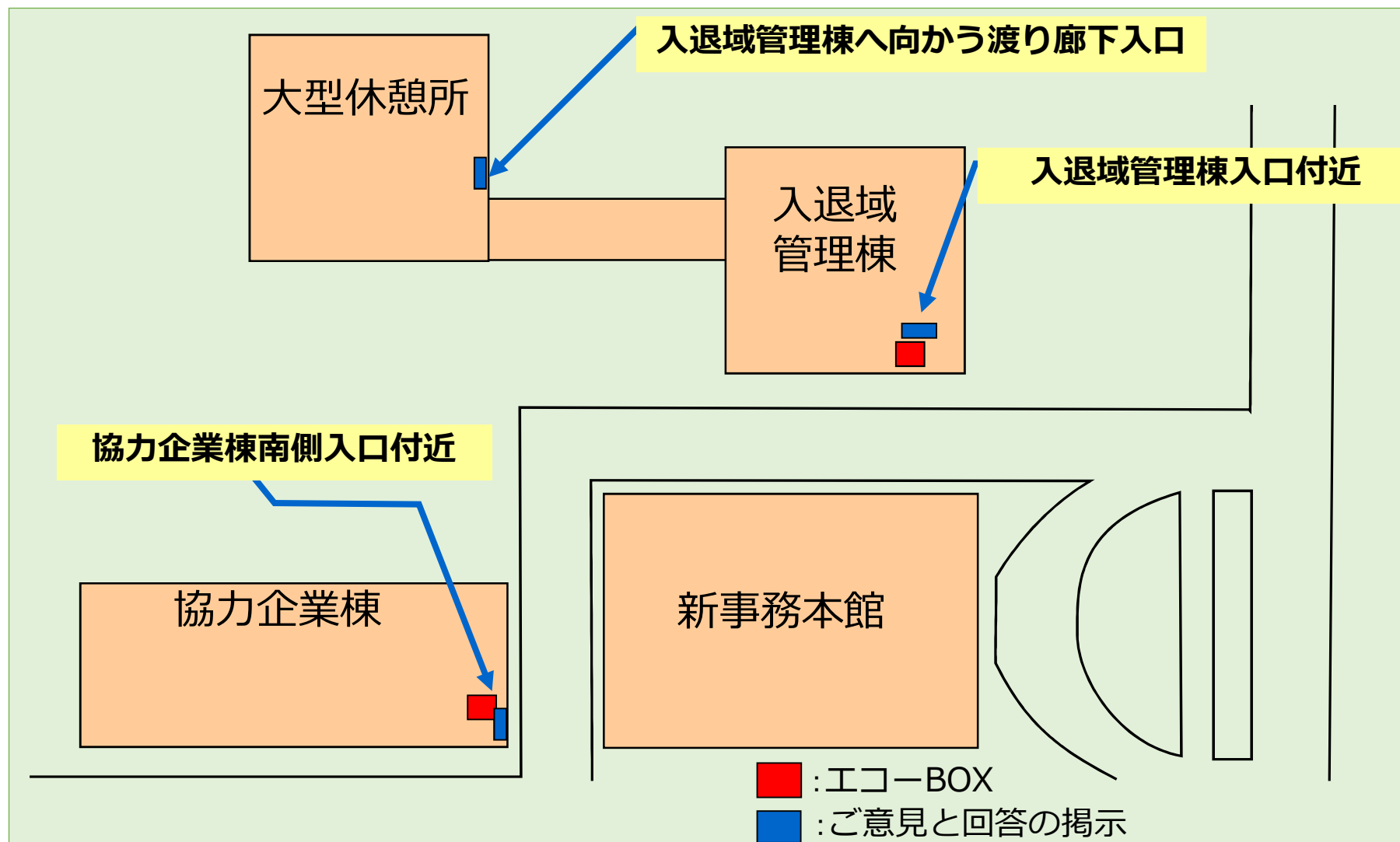
<2023年度～2025年度上半期に頂いたご意見・ご要望>



- 2023年度から2025年度上半期までに頂いたご意見については、年度により項目ごとに若干の変動はあるものの、マナー・モラルやルール、職場環境に対するご指摘やお気づきの点、また、設備の修理依頼についてのご意見・ご要望が寄せられている状況です。
- 2023年度から2025年度9月末までに頂きましたご意見については、全て回答済の状況です。
- 引き続き、作業員のみなさまのご意見やご要望につきまして、真摯に受け止め、誠実に対応して参ります。

(1) (参考) エコーBOX設置場所

投書しやすい場所に設置

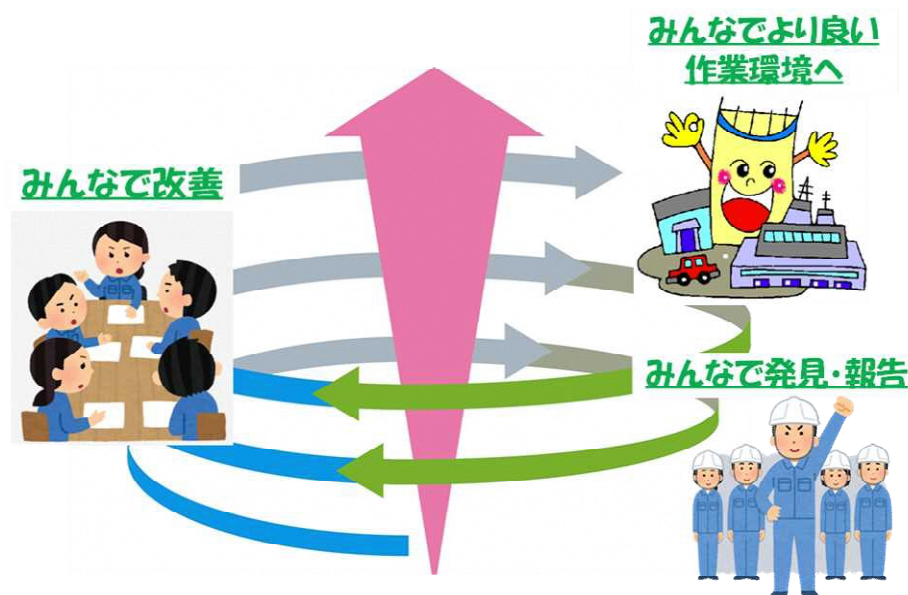


(2) ①協力企業CR活動の概要・目的

本活動(協力企業CR活動)は、1Fで働く皆様が**日々の現場作業を何事も無く、無事に終えご自宅へ帰ることが出来ること**、トラブルや災害を発生させることなく廃炉作業を着実に進めるために、1Fで働く当社及び協力企業の方々が一丸となり、**現場の『危険の芽』・『異常兆候』を発見・報告**し、作業安全・品質向上に向け、継続的な改善を行うことを目的としている。

現場で発見した**『危険の芽』・『異常兆候』**について、状態報告(CR※)を提出してもらい、既存の是正処置プログラム制度の中で改善活動を行っていく。

※CR(Condition Report)・・・発電所の安全・品質に影響を与えるような状態について、発見・気づきがあった際に報告を行う。その後、社内審議(パフォーマンス向上会議、PICoピア会議)で必要に応じて是正措置プログラムを実行し、改善を行う。



(2) ②どのような気づき事項を報告すれば良いのか

例えば
こんなことはありませんか？



現場ルール『○○』が
分かりづらい。
誤って解釈しルール違反を
起こしそう・・・

今はケガ・事故は起きていないけど
災害が起きてしまうかも・・・

この機器、何時もと違う感じ
(音・臭い) がする
機器に何か問題があるかも・・・



この活動は他の現場でも参考にできると思うけど
良好事例として皆に共有したいけど・・・



- 設備に誤ってぶつかりそう！
- つまづきそうで危ない！



- スズメバチが群生している！
- スズメバチが好む植物だよな！
- 他の方々が刺されるかも！



- 現場KYで黒板を活用、現場リスクの見える化

(2) ③会議体等について

➤ 協力企業CR運用事務局、是正処置プログラム運用事務局

- ①部署名：廃炉安全・品質室 品質向上G
- ②責任者：廃炉安全・品質室 品質向上GM
- ③役割：メールで送付されたCRの代理起票、対応主管Gの調整、企業CR対応状況の確認・進捗状況の報告、および是正処置プログラムの運用を取り仕切る

➤ 是正処置プログラム

- ①目的：安全に影響を及ぼす可能性のある問題点を迅速に特定し、十分に評価された後、重要度に見合った対処と是正を行う活動
- ②内容：CR起票後、PICoピア会議にて管理方針検討を行い、パフォーマンス向上会議にて同方針の承認後、対応主管Gにより対処や是正処置を実施する。
協力企業CRはこの仕組みを活用している。

➤ PICoピア会議(PICo：パフォーマンス向上コーディネータ)

- ①目的・審査内容：原子力安全に影響する問題の重要性と、プラントの運転や設備保全活動に与える潜在的影響を考慮し、効果的かつ効率的に処理するため、CR情報の仕分け（不適合クラス等）を行い、パフォーマンス向上会議で議論すべき管理方針案を検討する。
- ②構成員：廃炉安全・品質室管理職、発電所各部・各センターの専門性高い分野からの代表管理職
- ③開催頻度：毎日(案件により休会もあり)

➤ パフォーマンス向上会議

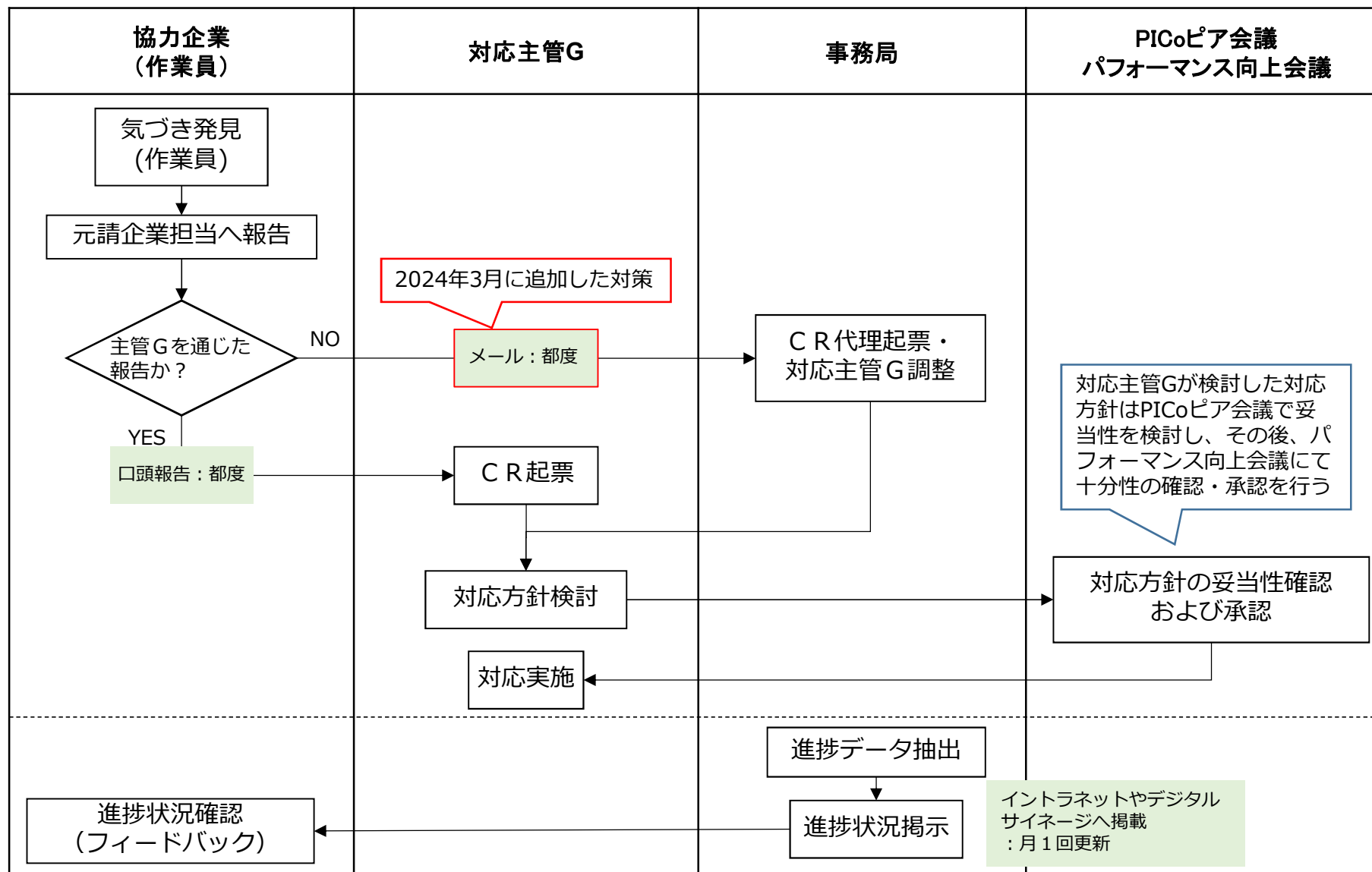
- ①目的・審査内容：原子力安全に対する問題について、不適合等の未然防止または再発防止を図るため、PICoピア会議で議論された管理方針については是正処置等の十分性の議論・指示を行う。
- ②構成員：主査は廃炉安全・品質室長、原子炉主任技術者、RC、発電所各部・各センター管理職
- ③開催頻度：グレード審議は毎日、是正処置レビュー審議は週2回(案件により休会もあり)

➤ 今後の課題

現状は発電所構内の不安全箇所の報告が多いが、現場第一線で実際に作業に従事する人が気づく経験（ノウハウ）・気づきから得られた知恵(その現場での良い対処法)のようなものを収拾したいとも考えており、それらを数多く報告してもらう方策を検討していく。

(2) ④CR起票から処理までの流れ

- 気づきの発見⇒CR起票⇒主管Gによる対応方針検討⇒PICOピア会議・パフォーマンス向上会議による方針確認⇒主管Gによる対応という一連の流れは「是正処置プログラム」に則って実施される。



(2) ⑤これまでの成果

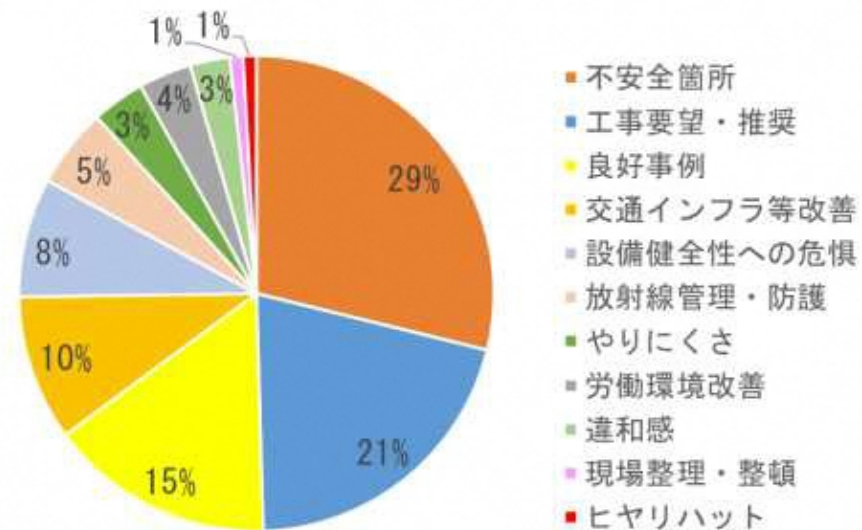
➤ 起票の状況について

2024年度に起票された企業CR件数は111件であり、報告内容は作業安全上の懸念（不安全箇所、交通インフラ改善や設備健全性への危惧）が半数を占め、残りについては次回の工事要望・推奨、放射線管理・防護の懸念（ゾーン表示やエリア表示の見にくさ）や作業のやりにくさなどが報告されている。

これらのCRへの対応については、対応する主管Gによって行われている。（進捗については定期的にイントラ掲示板等へアップし企業側へ周知している）

また、定例作業手順書上の名称記載が現場と相違していることに気付き、立ち止まって手順書誤りを報告し、適切な対応を取ることができたなどの良好事例や違和感の気づきなどに関する報告も確認できている。以下に種類別ごとの起票状況を示す。

○協力企業CRの種類別割合
(2024年3月～2025年3月)



(2) ⑥具体的な報告内容について (1/2)

(1) 『安全上問題がある状態』

作業の安全確保において、支障が生じている状態、ふさわしくない状態。

企業気づきで報告して頂いた事例

未点検で使用禁止表示が付いている安全ブロックが放置されていた。

⇒表示に気付かず使用し、事故につながるリスクがある。

【当社の対応状況】

同様な安全ブロックが無いか確認し、順次撤去した。



未点検の安全ブロックを
使用して災害が発生
するかも…

(2) ⑥具体的な報告内容について (2/2)

(2) 『ヒヤリハットや作業における懸念・要望事項』

体験したヒヤリハット事例や、安全に作業する上での懸念・要望事項。

企業気づきで報告して頂いた事例

汚染瓦礫類保管容器へ廃棄物を入れる際、廃棄物量に関わらず、容器を開閉するためのユニック車が必要となっている。

⇒小型車で運搬可能な少量の廃棄物であっても、大型のユニック車が必要なためやりづらく、周辺も狭いため車両接触リスクが高くなる。

【当社の対応状況】

これまでは廃棄物を持ち込む側で開閉作業を行う運用であったため、各企業がユニック車等を用意する必要があったが、運用見直しの結果、少量の場合は受け取り側で容器の開閉作業を行う運用とした。



少量の廃棄物だけど
ユニック車を用意
するのか...

(2) 参考 協力企業CRの報告方法

現在の取り組み（今後も継続）



以前まで現場の気づきは、主管Gの工事監理員へ報告頂いていたが、2024年3月以降、工事元請企業担当者からの直接メールで気づき事項の報告が出来るようになった。（従来の主管Gを通じた報告も継続している）

主管Gに報告する特徴

- 直接主管Gに口頭伝達することで対応スピードが早い。

直接メールで報告の特徴

- 口頭伝達のみでうやむやになることを防ぐことが可能。的確に対応可能。
- 誰に報告したら良いか分からない情報でも報告可能。

新たな取り組み



(2) 参考 協力企業C Rへの対応状況報告活動について

【活動状況 協力企業C Rの気づき・対応状況】

入退域管理棟デジタルサイネージに掲載



食堂テーブルに卓上ホルダーで掲示



【活動状況 安全品質トピックスでの周知】



【活動状況 fuku1企業ネットでの周知】

「現場の声」の対応状況一覧(2025年08月分)

▶文書作成情報

内容

安全衛生推進協議会加盟企業各位

日頃よりC R（コンディションレポート）の運用について、ご理解ご協力ありがとうございます。協力企業の皆さまより報告頂いた「現場の気づき（企業気づき）」の一覧を掲載致します。毎月1回の掲載予定です。ページ下部にエクセルファイルを添付しておりますのでご確認ください。

なお、報告様式の自動メール作成が機能しない場合は、お手数をお掛けしますが、手動にて下記メールアドレスへ件名【報告書送付】とし、記載頂いた報告用紙を添付し送付願います。メールアドレス：X0129354@tec.co.jp

皆さまから挙げられた気づき事例【2025.08】

タンクエリア壕内アクセス歩廊の揺れについて

壕内への立ち入りに使用している立馬において不安定な揺れが確認されたため、昇降時に揺れて転倒する危険がある。
⇒パイプで固定し、揺れを解消しました。



提案者 株式会社アトックス

パイプで固定

5号オベフロサービスボックス開閉時の挟まれリスク

サービスボックス内の電源設備を利用する際、取手部分が回転せず開閉出来ないで、鉄板と床の隙間に指を入れて開閉しているが、指を挟むリスクがある。
⇒当該取手の修理を行います。



(3) ①労働環境の改善に向けたアンケート

■ アンケートの概要 （詳細はP.16～P.21参照）

項 目	概 要	詳細
目 的	福島第一の作業員の皆さまにとって「安心して働きやすい職場環境」を作るため、日ごろ感じていることや、改善の要望をアンケートで調査	—
頻 度	・年1回（2011年度に開始、本年度は第16回目、8～9月に実施）	—
対象者	・福島第一において作業に従事する全ての方（パートナー企業様） ・回答者数：第15回（前回）＝約5,500名、回答率＝約95%	—
配布物	・①アンケート冊子、②回答用紙、③労働管理パンフレット、④ご意見を踏まえた改善事例 について、の4点を1セットにして配布	P.16,17
設問構成・ 回答方法	・設問構成：大項目10項目に子設問各1～3問の構成	P.18
	・設問項目：属性（年代、経験年数等）、装備（一般服～R装備）、 共用設備の気づき、休憩所の快適さ、作業点検の浸透度 等 ・回答方法：匿名にて、選択肢および自由意見を回答用紙に記入	P.19
意見への 対応方法	・提出後3ヶ月程度で集計、経年変化把握、変化の要因分析等をまとめ ・意見・要望を施設・内容ごとに分類・整理し、対応方法を検討・計画化	P.20

(3) ④アンケートの設問構成、今回の見直し点

- 設問構成等は、新型コロナ対策や「作業点検」の実施等、その時点の状況・動向を踏まえて、「アンケートの目的に沿った適切な設問」となるよう毎年度見直し

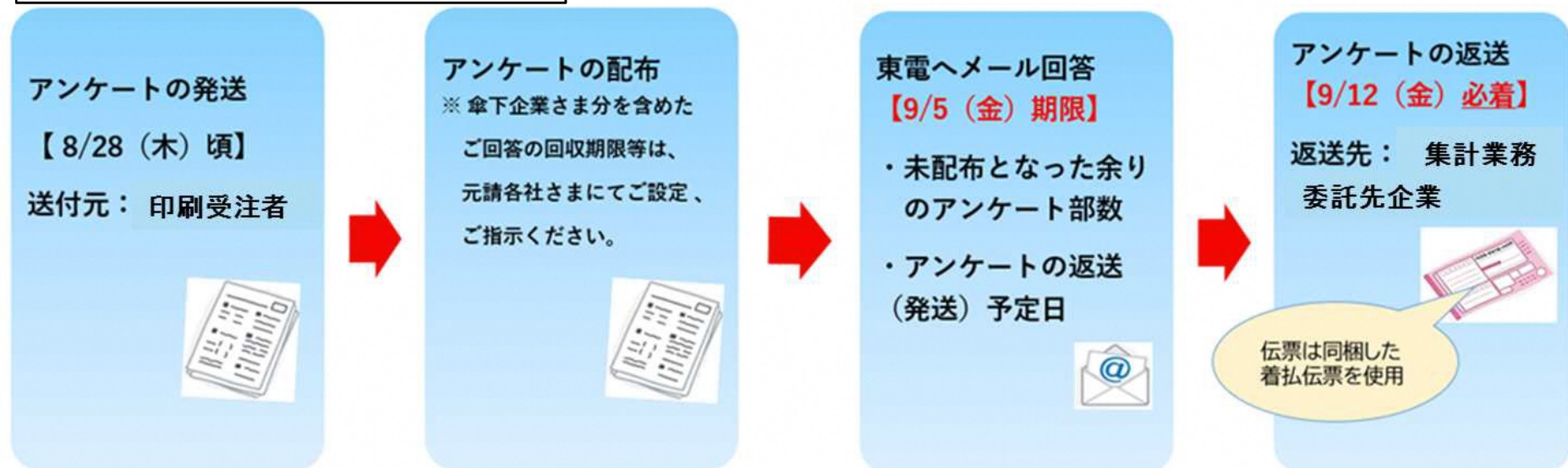
2025年度設問構成・見直し反映の概要

分類	2024年度設問	2025年度 (見直し 案)	見直し理由	設問決定意図
労働 環境 改善	1)1F共用部不安全箇所等	変更なし		
	2)休憩所の快適さ	変更なし		
	3)現場作業中の気づき等	変更なし		時事設問・継続確認
不安 ・ やり がい	4)働くことへの不安	変更なし		経時変化確認
	5)放射線に対する不安	変更あり	不安要因が掴めて、よりの確 に対応を検討しやすい形へ	経時変化確認
	6)やりがい	変更なし		経時変化確認
	7)1Fでの就労希望	変更なし		経時変化確認
法令 関連	8)APDの不正使用	変更なし		法令遵守
その 他	9)東電社員の態度/作業 員同士の挨拶	変更なし		社員の態度、挨拶等は良 い協働のために必須
	10)廃炉作業の情報の入手等	変更なし		

(3) ⑤アンケートの配布・回答・提出方法

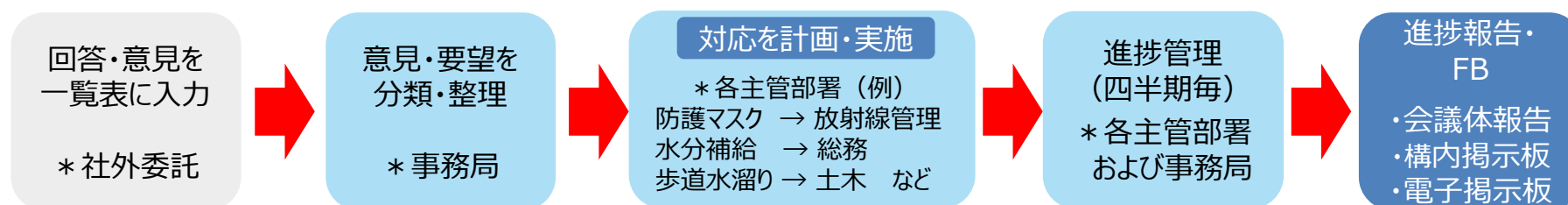
- 実施約 1 か月前に「*安全衛生推進協議会(元請企業様との会議体)」にて事前にご案内、実施要領の説明と協力を依頼（傘下協力企業様への配布・回収を依頼）
 - *安全衛生推進協議会：1 Fの安全を高めるため、元請企業様と情報共有、協議を行うため、月 2 回の頻度で開催
構成：会長 = 1 F所長、委員 = 副所長、センター所長等、元請企業代表者様
- 元請企業様 → 傘下協力企業様 経由で全作業員に配布し、各人が回答用紙に回答を記入
- 回答は各人の手で配布時の封筒に封緘の上、各元請企業様が回収し一括して提出
- なお、「回答を検閲された」「事実ではないことを書くように言われた」等の対策として相談電話（フリーダイヤル）を設置

発送～返送の流れ（今回の例）



(3) ⑥意見の対応、進捗管理、意見元への報告

- アンケートのご意見は、事務局（地域パートナーシップ推進G労働環境改善チーム）が施設・要望タイプごとに分類・整理し、各件の対応の*主管部署を決定の上、各主管部署が主体となって対応を検討・計画化し実施
* 工事管理・運用部署
- 四半期ごとに進捗状況を集約、安全衛生推進協議会や構内掲示板、デジタルサイネージへの掲載等により報告（現場フィードバック）



進捗状況集計（2025年度1Q末時点）

	13回 (2022年度)	14回 (2023年度)	15回 (2024年度)	計
進捗管理総数	71件	129件	72件	272件
対応済み	66件	105件	42件	213件
2025年度内 対応予定	2件	20件	19件	41件
2026年度内 対応予定	3件	4件	11件	18件

(3) 【参考】「デジタルサイネージ掲載」による周知の例

- 自由意見への対応については、福島第一構内のデジタルサイネージや掲示板等で改修終了や利用開始のご案内等をお知らせ（現場フィードバック）

デジタルサイネージ設置例



掲載例（休憩所整備、給水・休憩バス配備）

ご意見・ご要望を踏まえた対策-003

【休憩所】を整備しました

『企業センターB棟』ならびに『事務本館2階北東エリア』の**休憩所**を整備しました。
(2022年5月～2023年6月実施)

【企業センターB棟】



装備交換や休憩ができます！



労働環境改善アンケートでいただいたご意見・ご要望へのお応え-008

1～4号PPに水が飲める休憩場所を希望です。
免震棟まで遠いので。

休憩できる給水車を3台配備



【設置場所】

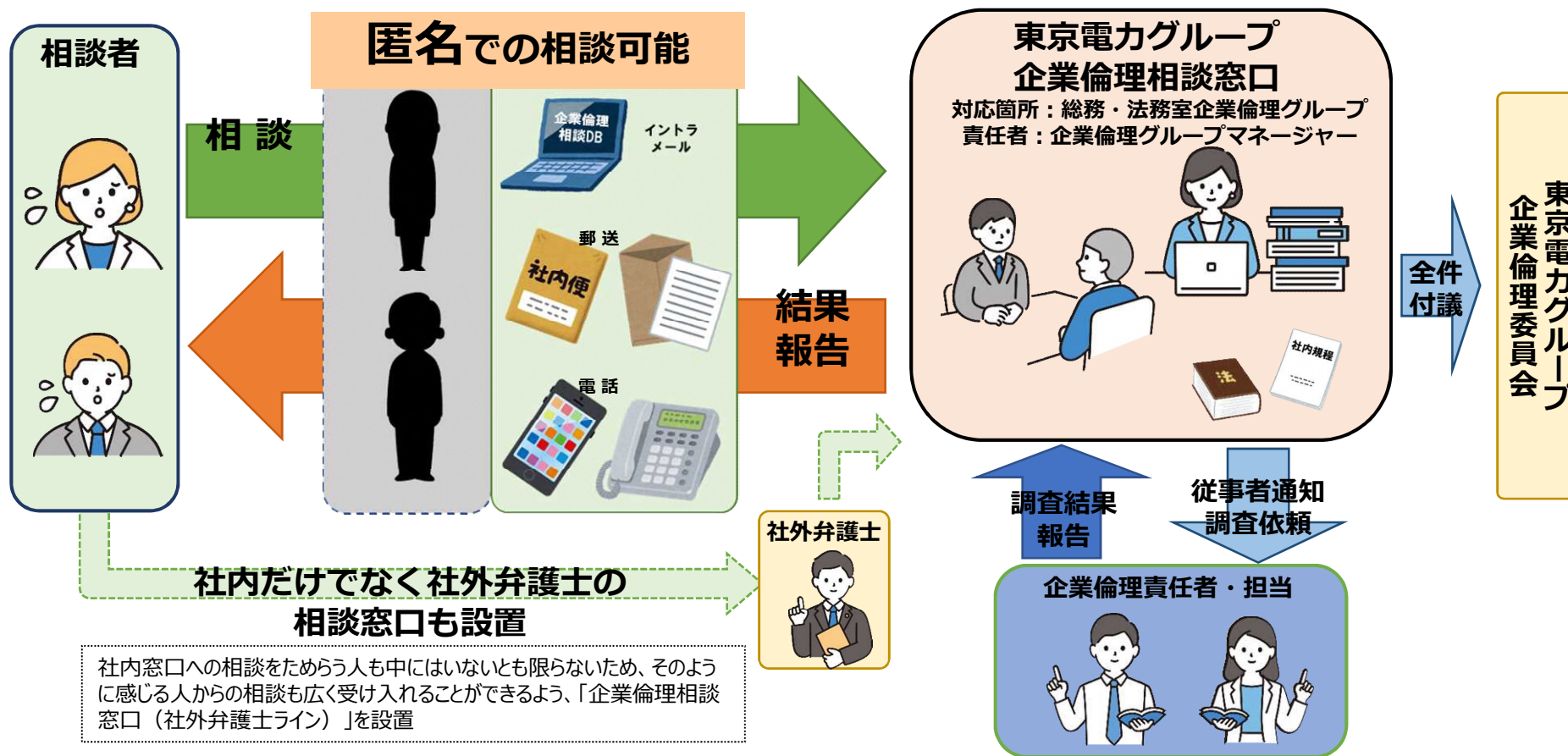
- ①サイトバンカ建屋付近
- ②大型機器メンテ建屋付近
- ③構内北側エリア

【カイゼン点】

- +人数増：約10名
- +簡易トイレ設置
- +喫煙所を設置

(4) ①東京電力グループ企業倫理相談窓口の運営

- 企業倫理上の問題を感じた際は、「企業倫理相談窓口」へ相談可能な仕組みを取り入れている
- 調査に関わる者については、通報者保護および秘密保持を徹底し、相談者が通報したことによる不利益な取り扱いを禁止している



(4) ②企業倫理活動 取り組みの全体像

取り組みの全体像

企業倫理を遵守した業務運営の実践・定着を図るために
3つの取り組みを行っています

取り組み1 : 企業倫理の方向性・基準の明示

「東京電力グループ企業行動憲章」

「東京電力グループ企業倫理遵守に関する行動基準」

取り組み2 : 社会常識に沿った業務運営・企業倫理徹底のための推進体制

東京電力グループ
企業倫理相談窓口

企業倫理グループ

東京電力グループ
企業倫理委員会

各組織に企業倫理責任者及び企業倫理担当

委員長：代表執行役社長
副委員長：執行役
委員：社外有識者
(弁護士1名、学者2名)
労働組合委員長
※統括事務局：企業倫理グループ

取り組み3 : 企業倫理推進活動

「しない風土」
の構築

「させない仕組み」
の構築

モニタリング

「言い出す仕組み」の構築